

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	19	コロナ禍で家族が参加可能な行事等を開催できておらず、入居者と家族が関わりを持つ時間が殆どない状況にある。	入居者・家族間の絆が薄れることがないように支援する。	手紙を書ける入居者は、家族宛てに手紙を書く。手紙を書くことが難しい入居者は、事業所で家族宛てに毎月作成している個別のお便りに、本人から家族へ向けた言葉を載せて郵送する。	6か月
2	21	入居者が出来ることを職員のみで行ってしまうことがあり、入居者が有する能力を活用しきれていない。	入居者が出来ることを増やし、自立した生活に近づく。	環境整備等、身の回りに関することを職員のみで行わず、入居者と一緒に行うことができるように働きかける。また、一人一人が実現可能なことを見つけ、職員と共に実施しながら、出来ることを増やす。	12か月
3	50	コロナ禍で外出をしておらず、金銭を取り扱う機会がないため、お金の大切さについての意識が薄くなっている。	お金の大切さと金銭の取り扱いについての意識を高める。	事業所でおやつ等を準備し、お金(イラストを印刷した物など)を使用して模擬での買い物をするこで、お金の取り扱いの重要性について再度確認していただく。	6か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。